

いばらき 県シ連だより

IBARAKI Prefecture Silver Human Resources Center Federation

令和8年
1月
発行



「守谷市無形文化財に指定された祇園祭
の中から馬鹿囃子の奉納」
場 所：守谷市八坂神社境内
撮影者：公益社団法人 守谷市シルバー人材センター
滝沢俊之さん

目次

特集1 **生きがい就業の介護
予防効果について**

特集2 **支援機器を使った
モデル事業への取り組み**



連合会会長挨拶	2
茨城県知事挨拶・茨城労働局長あいさつ	3
特集1「生きがい就業の介護予防効果について」	4
特集2「支援機器を使ったモデル事業への取り組み」	6
センター訪問（美浦村/行方市）	8
就業活動レポート（神栖市/利根町）	10
シルバー会員の声（城里町/桜川市）	12
安全就業推進について	13
わくわくシルバーフェスティバル/新規シルバー会員向けセミナー	14
新たな契約方法への移行について	15
会員募集のおしらせ	16

年頭のごあいさつ



公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

会長 加倉井 健一



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年中は当連合会の業務運営に対し、多岐に亘るご理解とご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年も記録的な猛暑に見舞われ、特に屋外作業につきましては、熱中症対策に苦勞したシルバー人材センターも多かったことと思います。

また、社会経済状況を見ますと、米の価格高騰をはじめ物価高が進む中、賃上げに向けた動きもみられ、昨年10月12日からは茨城県の最低賃金は69円アップし1,074円となっております。県内の景気につきましては、日本銀行水戸事務所の2025年11月の茨城県金融経済概況によりますと、県内景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに増加しているとの判断となっております。

さて、このような中、我が国は65歳以上の方が3,621万人で総人口の29.4%（令和7年10月）を占め、茨城県でも85万3千人で31.2%となっており、高齢者が健康で生きがいのある生活を実現する場として、シルバー人材センターの役割は一層大きなものとなっております。

一方で、シルバー人材センターを取り巻く環境は、会員数の減少や会員の高齢化が続くなど厳しいものがございます。特に、会員拡大への取組は喫緊の課題であり、女性活躍推進委員会を中心に各シルバー人材センターと連携を図りながら、女性会員拡大に向けた取組を引続き進めているところです。

また、「フリーランス法」への対応や、同法を踏まえての「新たな契約方法への移行」についても、着実に取り組んでいく必要があると考えております。

今後とも、「安全就業の徹底」を最優先に、地域社会の福祉と活性化に貢献する、魅力あるシルバー人材センターとして充実発展するよう努めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、各シルバー人材センターの益々の発展と、会員、役職員の皆様方におかれましては健康に十分留意され、安全で明るい年になりますよう心から祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会 役員名簿

任期：令和6年6月18日から令和8年度定時総会終了時まで

謹賀新年

会 長	加倉井 健一	(公社)水戸市シルバー人材センター
副 会 長	塚本 将男	(公社)龍ヶ崎市シルバー人材センター
副 会 長	大山 百合子	(公社)東海村シルバー人材センター
常務理事	長山 優	(公社)茨城県シルバー人材センター連合会
理 事	前田 浩	(公社)土浦市シルバー人材センター
理 事	松本 康雄	(公社)阿見町シルバー人材センター
理 事	長 行雄	(公社)常総市シルバー人材センター
理 事	鈴木 誠	(公社)古河市シルバー人材センター
理 事	山口 晋一	(公社)石岡地方広域シルバー人材センター
理 事	三浦 利春	(公社)北茨城市シルバー人材センター
理 事	岩田 孝司	(公社)笠間市シルバー人材センター
理 事	高橋 明	(公社)潮来市シルバー人材センター
理 事	中村 洋子	(公社)取手市シルバー人材センター
監 事	井上 雅裕	公認会計士・税理士
監 事	根笹 博	(公社)ひたちなか市シルバー人材センター
顧 問	綿拔 剛	(公社)茨城県シルバー人材センター連合会

新年のごあいさつ



茨城県知事

大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの皆様方におかれましては、日頃から高齢者の就業機会の確保・提供にご尽力されておりますことに、心より敬意を表します。

さて、我が国では、人口減少と高齢化が加速度的に進行しており、地域社会の活力を維持していくためには、働く意欲のある高齢者の皆様に、これまでの知識や経験を活かしながら存分にご活躍いただくことが大変重要であります。

こうした中、高齢者の就業機会を確保し、生涯現役での社会参加を促進するシルバー人材センターへの期待は益々大きくなっているものと考えております。

県といたしましては、貴連合会をはじめとする関係機関と連携し、シルバー人材センターの活動を周知・広報するなど、高齢者の多様な就業機会の確保に努めますとともに、人生100年時代を見据えた健康づくりの推進などを通じ、高齢者の皆様一人ひとりがいきいきと活躍できる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会の益々のご発展と、皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことをお祈りしまして、新年のごあいさつといたします。



厚生労働省茨城労働局長

佐藤 悦子

新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から茨城労働局の業務運営につきまして、ご理解とご協力を賜るとともに、高年齢者の就業促進に向けた事業にお取り組みいただき、心より感謝申し上げます。

さて、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少という構造的な課題に直面する中、経済社会の支え手となる労働力を確保していくためには、働く意欲のある高年齢者が年齢にかかわらず、その能力・経験を十分に発揮し、生涯現役で活躍できる環境の整備が重要となります。

シルバー人材センター事業は、高年齢者の多様なニーズを踏まえた就業機会の提供と社会参加の場としての役割を担っており、今後、その役割が益々重要なものになると確信しております。

茨城労働局といたしましても、シルバー人材センターの皆様と連携し、高年齢者の活躍の場を広げていく所存でございますので、今後とも変わらぬお力添えをいただけますようよろしくお願いいたします。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げて、新年のご挨拶といたします。

特集

1

生きがい就業の 介護予防効果について

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長 石橋 智昭

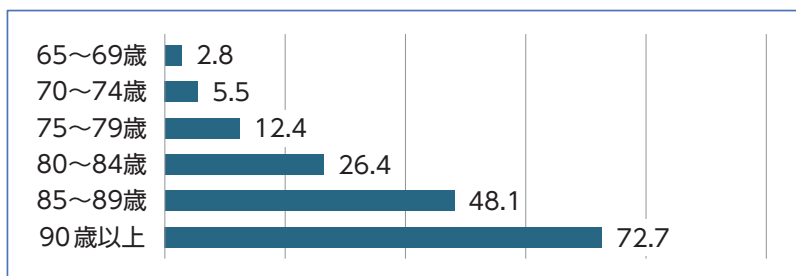
《プロフィール》

千葉大学大学院修了後、亀田総合病院、慶應義塾大学医学部を経て、現在ダイヤ高齢社会研究財団の研究部長。専門は医療介護の質の評価（医学博士）現在、慶應義塾大学・東邦大学の非常勤講師のほか（公社）全国シルバー人材センター事業協会の「安全就業優秀・優良シルバー人材センター等選定委員」を兼任。

◆ 介護が必要な人が増えるのは、80歳を過ぎてから

地域で暮らす人々の中で介護が必要な人が増えるのは何歳ぐらいからでしょうか？介護保険制度は65歳から利用できますが、実際に要介護認定を受ける人が2割を超えるのは80歳を過ぎてからです（図表1）。したがって、要介護のリスクは75歳以降の後期高齢期に高まることを意識しましょう。

図表1 年齢階級別の要介護認定率（%）



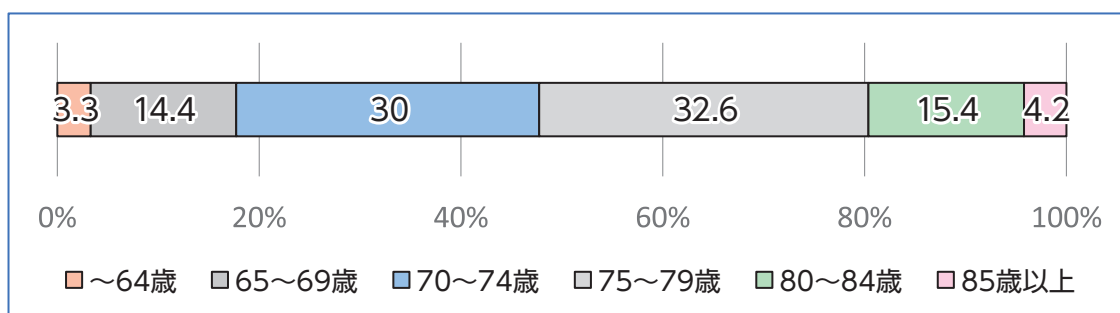
出典：厚生労働省「令和4年度厚生労働白書」より作成

また、健康な状態から要介護状態に近づいた状態を「フレイル（Frailty）」と呼びます。いわば、イエローカードに相当する「フレイル」ですが、一方で適切な対応によって「健康」へと再び戻れる可能性が高い状態でもあります。現在は、このフレイル状態への移行防止や逆方向（健康側）への改善を目指すことが介護予防の重点ポイントになっています。

◆ 会員の高齢化は介護予防アピールのチャンス？

センター会員の高齢化は、これまでシルバーの弱点として扱われてきました。しかし、見方を変えれば介護予防をアピールするチャンスとも言えます。先述のように、フレイル予防のターゲットは75歳以上の後期高齢層ですが、この層はセンター会員の半数を占めています（図表2）。一定の後期高齢者の受け皿となっていることに加えて、その活躍を通じた介護予防効果が示せれば、自治体への大きな貢献ポイントになるでしょう。

図表2 シルバー人材センター会員の年齢構成（全国）



出典：全シ協 令和7年度「統計年報」より作成

◆ センターの予防効果を検証する全国調査

センター会員の介護予防効果に関して、全国シルバー人材センター事業協会が全国52の市区町村で75～84歳の一般高齢者とシルバー会員に対する2年間の追跡調査を行っています。茨城県では日立市と龍ヶ崎市のセンターも参加しています。スタート時点の健康状態や生活習慣など（図表3）が近い地域高齢者とシルバー会員の近いペアを作成した解析では、**2年後のフレイル発生率はセンター会員の方が低いことが明らかになっています**。これらの詳しい結果は、各センターへあらためて発信される予定です。

図表3 地域高齢者とのマッチングに使用した項目

①人口学的属性	年齢、性別、学歴、前職、経済状況、居住等
②健康状態	フレイル水準、疾患、服薬数、転倒経験、主観的健康観、睡眠の質
③社会参加状況	地域の祭りやイベント、ボランティア、近隣との交流、友人との往来、等
④その他	就業理由、仕事の疲労感、満足感 等

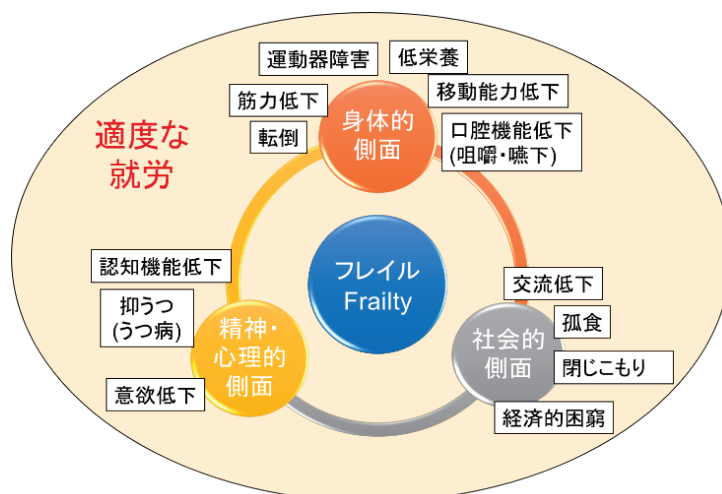
◆ 就業に期待される多面的な予防効果

フレイルには、運動・栄養・口腔機能の「身体面」、うつ・認知機能の「精神・心理面」、独居や経済的困窮などの「社会面」まで3つの側面（図表4）がありますが、地域のフレイル予防は「身体面」が中心で筋トレや体操、栄養教室などが盛んです。一方で、高齢者の5人に1人はひとり暮らしで、周囲の人と関わらない「社会的な孤立」の状態です。他者との交流はあくまでも本人の価値観によるべきですが、孤立の解消を望む人々への支援プログラムは不十分です。

私は、生きがい就業の効果に大きく期待しています。就業は、**定期的な外出**へのきっかけとなり、**仲間との交流や地域とのつながり**へと広がり、フレイルの社会的側面にも貢献できそうです。実際には、3つの側面は相互に影響するため、仕事を通じたコミュニティへの参加は、孤独感やうつリスクを軽減し、頭を使いながら適度な運動を行う仕事なら認知症予防など「精神・心理面」にも有効でしょう。

ぜひ、センターの皆様には肌で感じた就業の多面的な効果を発信していただきたいと思います。

図表4 フレイルの多面的な側面



特集

2

無理なく、長く、いきいきと。

～支援機器を使った

モデル事業への取り組み～

シルバー人材センターでは、会員の高齢化にともない、体への負担を軽減し、安全で快適に働ける環境づくりが求められています。そこで注目されているのが、体の動きをサポートする「支援機器」の導入です。

県内では、厚生労働省のモデル事業「シルバー会員就業支援事業」を活用し、草刈り作業などで腰などの負担を軽くする「アシストスーツ」や暑さ対策の「ネッククーラー」などの機器を試験的に導入することになりました。今回は、東海村とつくば市の取り組みを紹介します。

東海村シルバー人材センターの取り組み

「慣れれば、きっと強い味方に」



佐藤さん

東海村シルバー人材センターでは、茨城県発の企業・サイバーダイン社が開発した「HAL腰タイプ」を導入しました。導入のきっかけは、「地元企業の技術を応援したい」という思い。主に草刈りや除草作業で使用されています。

導入後まもなく、全国シルバー人材センター事業協会から2人の担当者が視察に訪れ、実際に機器を使用する会員への聞き取りを行いました。現場では、会員の率直な感想や課題が共有され、今後の活用に向けた意見交換も行われました。



関さん・小泉さん

まだ導入から日が浅いものの、会員からは「モノを上下するときの腰の負担が軽く感じられる」「効果はこれからに期待」といった声が聞かれます。「最初につけたときは腰が楽になった感じがしました。でも、装着や操作が少し難しいですね」(小泉康行さん・73歳)「草をトラックに載せるときは、すごく楽になりました。ただ私たち刈払い班は横に動く動作が多いので、少し邪魔になりますね。装置自体が大きいので」(佐藤定行さん・71歳) また、装着には慣れが必要で、特に高齢の会員にとっては一人で扱うのが難しいという課題もあります。

センターでは「装着時は数人で協力する」「使いながら改良点を探る」といった工夫を進めています。担当者は「貸与期間が2月までなので、つくば市さんと情報交換しながら、その間に効果を確かめたい。」と話します。地元発の先端技術を活用した挑戦が、会員の就業を支える新たな一歩になっています。



全シ協との意見交換

つくば市シルバー人材センターの取り組み

「支えるのは、技術と仲間」

アシストスーツで広がる安心の現場。

つくば市シルバー人材センターでは、国のモデル事業として「HAL（ハル）」やゴム製マッスルスーツ、ネッククーラーコモドギアを導入しました。導入の背景には、草刈り作業を行う会員から寄せられた「作業中や翌日の腰痛が辛い」という声があります。これらの支援機器は、草刈りだけでなく、刈り取った草をトラックに積み込む作業、自転車修理、こども一時預かりなど、幅広い現場で活用されています。

「体にフィットするまで時間がかかりましたが、トラックへの積み込みが楽になりました」（張元政治さん・76歳）「除草作業は中腰が多いので、体の負担がかなり減りました」（野尻洋男さん・80歳）「若いころの事故で腰痛があったけど、これを使うとかなり楽になりました」（飯村成就さん・78歳）自転車修理に従事する会員も、アシストスーツとネッククーラーを併用しています。「もともと腰痛持ちなんですけど、アシストスーツとコルセットを併用すると気分的にも楽になります。

修理した自転車をトラックの荷台に積み込むときなどは、とても楽になるのではないのでしょうか」（野口守さん・67歳）最初は戸惑いながらも、使用に慣れてくると「腰痛を気にせず作業できるようになった」という声が増えています。センターでは、体力的な負担を理由に退会する会員が多い現状を踏まえ、支援機器を活用して「無理せず長く働ける環境づくり」を目指しています。技術の力と仲間の支えが、シルバー世代の新しい働き方を支えています。

アシストスーツの導入は、まだ実験段階ともいえる取り組みです。しかし、その先には「年齢を重ねても、安心して働ける社会」という目標があります。課題を解決するには時間がかかるかもしれませんが、少しずつ新しい就業のかたちが見えてくるかもしれません。



自転車修理（マッスルスーツとネッククーラーを装着）



集草作業1（腰にHALを装着）



除草作業2（腰にHALを装着）



青木さん・野口さん



張元さん



飯村さん・野尻さん・森田さん

センター訪問

地域に寄り添ったサービスを展し。 美浦村の暮らしを支える。

(粗大ごみの回収事業など)

公益社団法人 美浦村シルバー人材センター

- 住所 〒300-0405 稲敷郡美浦村間野341-1
美浦村生涯郷土工芸館内
- TEL 029-886-0007 FAX 029-840-0010
- E-mail miho-mura@sjc.jp
- 業務時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15
- 最寄駅 JR常磐線 土浦駅下車

霞ヶ浦の南側に位置し、穏やかな水辺と田園風景が広がる美浦村。日本中央競馬会（JRA）の競走馬トレーニングセンターがあることで全国的に知られ、競馬会関係者や競走馬の育成・調教に携わる方など多様な人々が集まる活気ある地域です。農業も盛んで、馬の街と農村が調和した“準農村地帯”として独自の魅力を持っています。

この地域の生活をていねいに支えているのが、美浦村シルバー人材センターです。会員数は153名（男性101名・女性52名）。「自分の力をまだ地域に活かしたい」という思いを持ったシニアが集まっており、令和6年度の就業率は93.7%と非常に高い数字を誇ります。今年度は会員160名の達成を目標に、新しい仲間づくりに取り組んでいます。



就業内容は、除草や剪定などの屋外作業に加え、公民館や福祉施設の管理業務、企業での軽作業、各家庭の清掃など多岐にわたります。障

子や網戸の張替え、簡単な塗装や大工仕事を行う会員もあり、住まいの困りごとに頼りにされています。

中でも近年注目されているのが、粗大ごみ回収サービスです。高齢者だけの世帯や免許証を返納した方にとって、大きな家具の移動や処分は大きな負担です。そこでセンター会員が直接自宅へ伺い、ベッドやソファなどの大型家具を解体して分別し、適切に処分します。「助かった」「またお



願いしたい」という声が多く寄せられ、生活の安心を支える重要な役割として定着しつつあります。

また、競走馬産業に関わる住民も多い美浦村では、昼夜問わず働く家庭も珍しくありません。地域で支え合う仕組みがより求められる中、センター会員の存在は「暮らしのセーフティネット」としてさらに期待が高まっています。



広報活動にも力を入れています。毎月新聞折込広告や広報誌へのチラシ同梱に加え、美浦村文化祭会場での募集活動など、直接住民へアプローチする機会も増やしています。

センターへの理解が進むほど、「地域を支える力」に参加したいという声も広がっています。これからも、美浦村が安心して暮らせる地域であるために。培ってきた技術と経験、そして人への思いやりを力に、美浦村シルバー人材センターは、住民の暮らしを支え続けます。



つながる力が、地域を動かす。 行方市の女性組織立ち上げ進行中。

公益社団法人 行方市シルバー人材センター

- 住所 〒311-3832 茨城県行方市麻生3140-1
- TEL 0299-80-6818 FAX 0299-80-6223
- E-mail namegata@sjc.ne.jp
- 業務時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15
- 最寄駅 潮来駅下車



霞ヶ浦と北浦に挟まれ、豊かな自然と農業のまちとして知られる行方市。歴史ある地域コミュニティを大切にしながら、世代を超えて支え合う暮らしが根づいています。また、コウノトリの飛来地としても知られ、環境の良さを表しています。そんな行方市で、シルバー人材センターの会員は205人（男性124人、女性81人／令和6年度末）。ここ数年は微増と微減を繰り返しながらも、地域を支える担い手として活躍の幅を広げています。

現在、同センターでの主な仕事は、除草作業や庭木の剪定、清掃、施設管理など多岐にわたります。刈り払い機の使用や剪定技術などは、県主催の講習会で積極的にスキルアップ。令和7年度には清掃講習会が行方市で開催され、多くの会員が参加しました。公民館を地域で運営することを市へ働きかけ、時間はかかりましたがようやく玉造公民館の施設管理を任されるようになり、今では北浦公民館や麻生運動場体育館等の施設管理も任されています。北浦公民館（10人）や玉造公民館（12人）ではワークシェアリングによる管理業務にも取り組み、公民館のイメージアップのため、さまざまな企画や

クリスマスディスプレイなどを行い、市民の生活環境を華やかにしています。

その中でも注目を集めているのが、女性会員の活躍です。リーダーとして牽引するのは、市役所で女性初の課長として男女雇用機会均等の推進に力を尽くしてきた新堀文江さん。女性目線で地域に寄り添った仕事づくりを進めています。

将来を見据え、令和8年度には「女性部」を立ち上げる計画が進行中です。先駆けとして、11月に開催された「2025 なめがた秋祭り」ではブースを出展。みそ田楽やとん汁を販売し、活動を元気にアピール。この取り組みは、女性同士のつながりづくりと新しい仲間を迎え入れる第一歩となりました。「女性会員が少ない現状を変えたい」と新堀さん。友人を誘って新しい仕事へと踏み出すきっかけにしたいと意気込みます。



センターとしても、市へ働きかけて女性が活躍できる仕事を増やす努力を続けています。将来的には、遊休地を活用した徳島県の「葉っぱビジネス」のように、高齢者でも取り組める独自産業の創出を目指しています。行方市の未来の産業を支える担い手として、女性会員の力が大きな可能性を秘めています。

地域に笑顔と元気を届ける行方市シルバー人材センター。ここから、女性の活躍がさらに花開いていきます。



就業活動レポート

つくる楽しさが、街をひらく。 神栖の朝を彩る、シルバーの元気朝市。

公益社団法人 神栖市シルバー人材センター

神栖市シルバー人材センターでは、平成29年4月から毎月最終月曜日に「朝市」を開催しています。時間は9時から11時まで。会員の皆さんの創作活動や特技を生かし、一般の方と交流しながらセンターのPRにつなげる取り組みです。



手芸同好会
花ヶ崎さん・増田さん・大竹さん



出店する会員は約15名ほど。手芸同好会の作品、会員が丹精込めて育てた野菜、混ぜご飯などの食品、空き缶を再利用した風車、そして刃物研ぎの受付まで、個性豊かなブースが並びます。自分の手で作ったものを直接販売することで、来場者との会話が生まれ、「生きがいになっている」と話す会員も多くいらっしゃいます。

一方で課題は「客数の伸び悩み」。市の広報紙などでPRを続けていますが、来場者をより増やすことが今後の大きな目標です。独自事業としてスタートした朝市を、もっと盛り上げたい。その思いから、「趣味の延長で気軽に参加できる場」として高齢者の交流の幅を広げていくことも目指しています。

朝市のほかにも、木曜・金曜に開く「カフェ」や、年末恒例の「ミニ門松づくり」など、センター独自の活動は広がりを見せています。

最後に、読者の皆さまへメッセージです。神栖市は工業団地が多く、定年後も働ける場所が豊富です。その一方で会員数は伸び悩んでいます。朝市をはじめ、さまざまな活動を通してセンターを知っていただき、新しい仲間が増えることを願っています。



【会員の声】

●風車製作・販売 加藤時一さん（78歳）

道の駅で見かけたのをきっかけに作り始めて4年ほど。鳥よけやモグラ除けにも使える風車は、販売を行った神栖フェスタでも評判が良かったです。朝市があると製作意欲が湧きますし、散歩中に自分の風車が置かれている家を見ると、とても嬉しくなります。認知症予防にもなり、誰かの役に立てるのが励みです。



加藤さん

●加工食品・野菜販売 原敏子さん（80歳）

混ぜご飯、野菜、コーヒー、ピーマンのピリ辛惣菜などを販売しています。料理は得意というわけではありませんが、センターを盛り上げる力になりたいと思っています。

●手芸同好会 増田栄子さん（79歳）ほか

制作しているのは籠や手提げ、ポーチなど。センターで手芸を始めてから楽しくて続いています。みなでおしゃべりしながら作る時間はとても楽しいですね。自分の作品を使っている方を町で見かけると、胸が弾みます。

●刃物研ぎ 橋本光司さん（92歳）

大工の家で身につけた技術を生かしています。包丁や鎌、鋏など、預かった刃物をどう研げば満足していただけるか、工夫することがやりがいのひとつです。また、鋏などは大工道具と違って研ぐのが難しいのですが、学び続ける楽しさを実感しています。県外からも依頼に来られるお客様もいらっしゃるの、期待に応えたいですね。



橋本さん

地域の朝を明るく照らす神栖市シルバー人材センターの朝市。これからも、会員の皆さんの技と笑顔が集まる場を育てていきます。

技が生きる、まちの力になる。 支える仕事、つなぐシルバーの誇り。

(施設・建物管理)

一般社団法人 利根町シルバー人材センター

利根町シルバー人材センターでは、除草、剪定、建物管理など、地域の暮らしを支える幅広い業務を行っています。今回はその中から、前職で培った専門スキルを生かして新しい業務を切り拓く会員と、日常を快適にする清掃業務などセンターの根底を支える会員をご紹介します。どちらも、地域に欠かせない大切な役割を担っています。

前職の専門性で町の暮らしを支援する業務

●唐沢洋さん(81歳)入会4年



唐沢さん

粗大ごみ収集や大型家具の搬出など、多岐にわたる仕事をこなしつつ、最も頼りにされているのは前職で培った空調・電気設備の技術です。



ガス漏れ点検



花壇の手入れ

エアコンの移設、空調設備やボイラーのメンテナンス、防犯カメラ設置、照明のLED交換など、専門資格が必要な依頼の多くを担っています。空き家の解体作業で電気関連の安全処理が必要な場面でも出番が多く、コミュニティセンターの維持管理にも貢献しています。

前職は空調設備メーカーで、冷凍・冷蔵機器やショーケースの製造からメンテナンスまで幅広く担当していた唐沢さん。所有資格も、第1種電気工事士、2級ボイラー技士、1級管工事管理技士、冷凍空調機器施工1級技能士、職業訓練指導員免許など多岐にわたり、その技術は地域にとって大きな力となっています。

「自分の技術が役に立ち、感謝されたときが一番うれしい」その言葉どおり、長年積み重ねてきたスキルが、利根町の安心と暮らしを支え続けています。

シルバー人材センターの根底を支える業務

利根町シルバー人材センターでは、清掃・施設管理を中心とした日常業務も、地域生活を支える大切な柱となっています。公共施設の清掃、個人宅のハウスクリーニング、お盆やお彼岸の墓清掃の代行、雨戸の開閉やゴミ出しまで、依頼は多岐にわたります。どれも派手さはないものの、暮らしの“困った”を解決し、地域の安心と快適さを支える欠かせない仕事です。こうした日常の仕事を担うお二人に話をうかがいました。



佐川さん・佐藤さん

●佐藤里美さん(75歳)入会1年

主に清掃業務を担当し、「皆さんが気持ちよく使えるように」と、トイレ清掃など細やかな配慮を欠かしません。

「働くことで生活にハリが出て、健康にもいいです。少しだけ収入になるので、友人とちょっと贅沢なランチを楽しめるのも嬉しい」と話します。

●佐川美喜子さん(82歳)入会7年

大学の体育館や校舎のトイレ清掃を担当しています。「学生さんが気持ちよく利用できるように心がけています。体を動かすので健康維持にもつながっています」と、笑顔で話してくれました。

こうした清掃・生活支援の仕事は、地域の日常を静かに支え続ける基盤です。目立たないけれど、なくてはならない仕事。専門技術で地域を助ける人、生活の中で誰かを支える人—利根町シルバー人材センターの活動は、多様な力と経験が重なり合うことで成り立っています。



清掃作業

まだまだ動ける、まだまだつながる。 第二の社会参加、ここからです。

城里町シルバー人材センター



かじ ひとし
梶 均さん (66歳)

入会したきっかけを教えてください。

定年後は家の手伝いや趣味の釣りを楽しんでいましたが、社会とのつながりが薄れてしまうのが気になっていました。そんなときにセンターのパンフレットを見かけ、「まだ動ける今を活かしたい」と入会を決めました。

現在の仕事内容を教えてください。

草刈り後の片づけや空き家の整理、町内通りの草取りなどを行っています。仕事自体はもちろんです、休憩中に仲間と話ができるのが楽しみです。建築や飲食、漁師など、さまざまな経験を持つ方との交流が刺激になっています。

入会して良かったことはありますか？

作業の幅を広げるため、刈払機などを扱える資格を取得しました。学ぶ機会ができ、「まだまだ成長できる」と感じられます。

仕事のやりがいはどこに感じますか？

依頼主様からの「ありがとう」という言葉は励みになります。除草した後の景色を見ると達成感も得られますし、仕事の話題で家族との会話が aumentata ことも嬉しい変化です。

読者にメッセージをお願いします。

経験を活かせるうえ、仲間も増え、社会とのつながりを実感できます。前向きに体を動かしながら一緒に活動してみませんか。

身体を動かせば、毎日が変わる。 第二のステージを、輝かせましょう！

公益社団法人 桜川市シルバー人材センター



さとう もりとし
佐藤 守利さん (71歳)

入会したきっかけを教えてください。

定年後、シルバー人材センター会員の方より、草刈り作業が忙しいので、ご協力していただきたいとお誘いがありました。時間的に余裕があり、以前、農作業を手伝っていたので、少しでもお役に立てるのではないかと思います入会することにしました。

現在の仕事内容を教えてください。

桜川市シルバー人材センターでは、主に刈払機を使用して、個人宅の草刈り作業や、背負い噴霧器や大型動力噴霧器での消毒作業・農作業を行っています。機械等の操作については、常に安全な使用を心がけていますが、特に刈払機による障害物にぶつかって起きる刈刃の跳ね「キックバック」には十分注意しながら作業を行っています。

仕事のやりがいはどこに感じますか？

私の班では8名の会員が活動しています。本年4月より班長として、連絡・調整を行っています。仕事の依頼に応え感謝されることで自分自身も、とても嬉しくなります。また地域の皆さんとの関わりが持てることにやりがいを感じます。

読者にメッセージをお願いします。

作業の合間の休憩時間は、会員同士の会話が弾みます。また、人間ドックで「体を動かす習慣は、大変素晴らしいですね。続けることは大事なことです」と身体を動かすメリットについてアドバイスを受けました。健康のために体を動かすことと仲間とのコミュニケーションは、認知症や生活習慣病予防につながると聞いています。皆さんもご自身にあった仕事を見つけ、前向きに取り組む一緒に活動してみませんか。

安全就業推進について

◆ 令和7年度 安全就業推進大会開催

令和7年7月4日（金）、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館コミュニティホールにおいて、令和7年度 安全就業推進大会を、シルバー人材センター会員、役・職員など計189名が出席し開催いたしました。

今大会開催により、本人の安全就業に対する意識向上とセンターの体制充実の両面が一体となって機能することで就業中の事故が軽減され、安全・安心なシルバー事業の展開につながることを期待いたします。



開会宣言
塚本安全就業対策推進委員会委員長



あいさつ
加倉井連合会会長



表彰
優秀賞 東海村シルバー人材センター
河野理事長



表彰
優良賞 日立市シルバー人材センター
宮本委員長

◆ 安全パトロールの実施

会員の皆様が健康で安全第一で就業できるよう意識を高めてもらうために、『安全パトロール』を実施しました。

日 時	実施センター
令和7年10月8日(水) 10:00から	東海村シルバー人材センター/ひたちなか市シルバー人材センター
令和7年10月30日(木) 10:00から	常陸太田市シルバー人材センター/茨城町シルバー人材センター
令和7年11月10日(月) 10:00から	坂東市シルバー人材センター/つくば市シルバー人材センター
令和7年11月13日(木) 10:00から	牛久市シルバー人材センター/阿見町シルバー人材センター

県内のシルバー人材センターでは、10月（11月）の普及啓発促進月間に各地域のイベントに参加して、活動内容の紹介や、会員の作品・地元特産品の販売等を行いました。今年は多くのイベントが開催され、シルバー人材センターを多くの方々に知ってもらうことができました。

その他**会員募集チラシ** ポケットティッシュ ウエットティッシュ等の配布を行いました。



令和7年度 新規シルバー会員向けセミナーを開催

令和7年11月4日（火）に連合会は、水戸市シルバー人材センターと共催で、新規シルバー会員向けセミナー「人生100年時代を健康に美しく生きる」をテーマに「ホテルレイクビュー水戸」で開催いたしました。シルバー人材センターのガイダンスや女優 由美かおるさんを講師にお招きし「心と体の健康『若々しさ・美しさを保つ秘訣』」について講演を行いました。

水戸市をはじめ、日立市・常陸太田市・笠間市・ひたちなか市・那珂市・茨城町・東海村・城里町など近隣市町村から多くのシルバーに興味をもたれた一般の皆さん、シルバー関係者など159人の参加をいただき新規会員の拡大につながりました。



水戸市SC会員による体験談発表



由美かおるさんによる講演とブリージング

(本事業は茨城労働局委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用いたしました。)

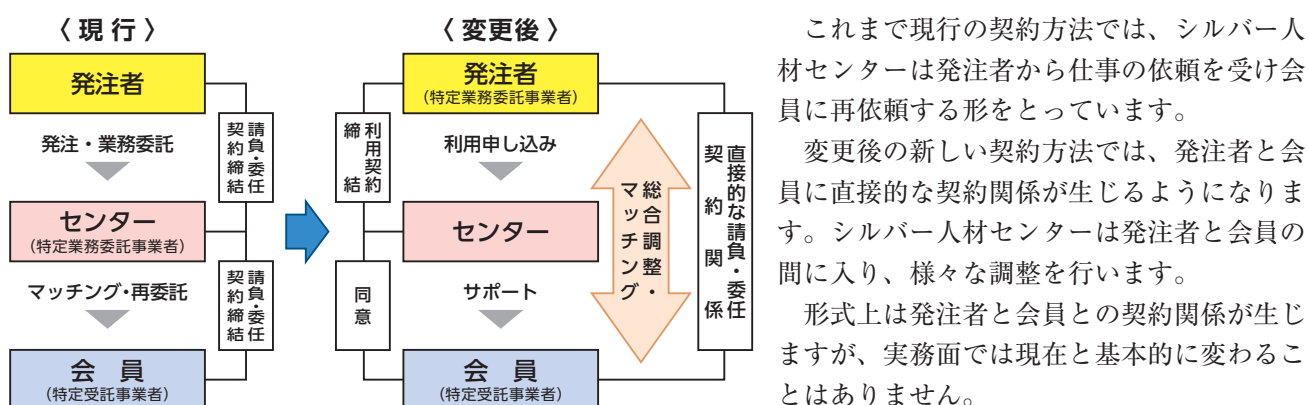
新たな契約方法への移行について

特定受託事業者に係る取引の適正化に関する法律（「フリーランス新法」という。）が施行され、シルバー人材センターの会員もフリーランス法の適用を受けることになりました。

そのため、フリーランス法による保護を受け、安心・安全に就業できる環境を整備する必要があり、厚生労働省から法の趣旨に沿いシルバー人材センターの契約方法をお客様と会員との直接契約に見直すよう方針が示されました。

契約方法の移行については、各市町村シルバー人材センターにおいて時期等を検討し進めています。

1 新しい契約方法（包括的契約方法）への移行



2 新しい契約関係（三者間の包括契約）

発注者はシルバー人材センター利用規約と会員業務就業規約に同意の上、センターとシルバー人材センター利用契約を結びます。

利用規約は発注者がセンターを通じて会員に業務を委託する際の基本的なルール、会員業務就業規約は会員がセンターを通じて就業する際の基本的なルール、利用契約は発注者がセンターを通じて会員に業務を委託するため、センター利用料や業務内容、会員の報酬額などを定めた契約です。

センターは利用契約をもとに会員業務仕様書を作成し、会員に就業条件明示します。会員が業務仕様書に同意することで、発注者と会員の間に請負委任契約関係が生じます。これにより、発注者、センター、会員間の包括契約関係が成立します。

3 料金の一部に関する消費税の課税関係

シルバー人材センターが発注者からいただく料金は、会員業務委託料（報酬）とセンター業務委託料（事務費等）の2つで構成されています。このうち、「会員業務委託料」については、新しい契約方法では、センターを経由するものの、発注者が会員に対して支払う形となります。

そのため、センターは、「センター業務委託料」の分については消費税に係る適格請求書（インボイス）を交付しますが、「会員業務委託料」の分については会員は免税事業者であるため交付することができません。

消費税課税事業者である発注者は、「会員業務委託料」に含まれる消費税相当額を仕入れ税額控除できなくなります。

※ 発注者が次のいずれかに該当する場合、新しい契約方法においてもこれまでの消費税の取り扱いと変更ありません。

- ①個人や家庭など事業者ではない場合：消費税申告納税対象外（納税義務対象外）
- ②簡易課税制度を選択している事業者：消費納税額計算に際してインボイスを必要としないため
- ③官公庁などの一般会計による事業：みなし仕入れ税額控除が適用されるため

60歳から

はじめてみたら うれしさが 待っていた

シルバー人材センターで出会うこれからの道

時間を有効活用したい
経験を活かしたい
仲間を作りたい
やりがいを見つめたい

あなたの「一歩」をサポートします

会員募集中!



一般社団法人五霞町シルバー人材センター



公益社団法人石岡地方広域シルバー人材センター

仕事募集

お気軽にお仕事を
ご依頼ください!

原則として、お仕事を依頼したい市町村のシルバー人材センターに、お申込みいただきます。公益な団体ですので、収益を目的にしていません。安心して仕事をお任せいただけます。



公益社団法人東海村シルバー人材センター



公益社団法人鉾田市シルバー人材センター



公益社団法人つくば市シルバー人材センター

シルバー人材センター	電話番号	シルバー人材センター	電話番号
水戸市シルバー人材センター	TEL 029-303-7272	那珂市シルバー人材センター	TEL 029-295-5741
日立市シルバー人材センター	TEL 0294-33-5586	筑西市シルバー人材センター	TEL 0296-25-4181
土浦市シルバー人材センター	TEL 029-824-8281	坂東市シルバー人材センター	TEL 0297-35-6405
古河市シルバー人材センター	TEL 0280-92-7018	稲敷市シルバー人材センター	TEL 029-892-3323
石岡地方広域シルバー人材センター	TEL 0299-23-3399	かすみがうら市シルバー人材センター	TEL 029-898-3130
結城市シルバー人材センター	TEL 0296-33-0222	桜川市シルバー人材センター	TEL 0296-54-6698
龍ヶ崎市シルバー人材センター	TEL 0297-64-3641	神栖市シルバー人材センター	TEL 0299-92-7583
下妻地方広域シルバー人材センター	TEL 0296-44-3198	行方市シルバー人材センター	TEL 0299-80-6818
常総市シルバー人材センター	TEL 0297-38-5808	鉾田市シルバー人材センター	TEL 0291-32-4448
常陸太田市シルバー人材センター	TEL 0294-72-7700	つくばみらい市シルバー人材センター	TEL 0297-25-2102
高萩市シルバー人材センター	TEL 0293-23-7911	茨城町シルバー人材センター	TEL 029-292-8627
北茨城市シルバー人材センター	TEL 0293-42-3262	大洗町シルバー人材センター	TEL 029-264-8828
笠間市シルバー人材センター	TEL 0296-73-0373	東海村シルバー人材センター	TEL 029-282-3446
取手市シルバー人材センター	TEL 0297-72-9288	美浦村シルバー人材センター	TEL 029-886-0007
牛久市シルバー人材センター	TEL 029-871-1468	阿見町シルバー人材センター	TEL 029-888-2036
つくば市シルバー人材センター	TEL 029-879-5199	五霞町シルバー人材センター	TEL 0280-84-0208
ひたちなか市シルバー人材センター	TEL 029-273-4727	境町シルバー人材センター	TEL 0280-86-5415
鹿嶋市シルバー人材センター	TEL 0299-83-5577	利根町シルバー人材センター	TEL 0297-68-7896
潮来市シルバー人材センター	TEL 0299-63-1213	城里町シルバー人材センター	TEL 029-288-7013
守谷市シルバー人材センター	TEL 0297-48-8591	大子町シルバー人材センター	TEL 0295-79-1222
常陸大宮市シルバー人材センター	TEL 0295-53-5885	河内町シルバー人材センター	TEL 0297-84-5455

会報「県シ連だより」編集会議メンバー

座長 (公社)茨城県シルバー人材センター連合会
 編集委員 大子町シルバー人材センター
 編集委員 (公社)潮来市シルバー人材センター
 編集委員 (公社)つくばみらい市シルバー人材センター
 編集委員 (公社)境町シルバー人材センター
 編集委員 (公社)茨城県シルバー人材センター連合会

総務課長 永井 辰也
 事務局長 芳賀 直幸
 事務局長 岸根 則夫
 事務局長 直井 和美
 事務局長 上野 伸一
 嘱託職員 栗原 秀子

公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918

セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階

TEL:029-244-4622 FAX:029-244-4633

ホームページ <https://www.ibaraki-silver.jp>

E-mail ibarakirengo@sjc.ne.jp